

科目名		Webコンピューティング (Web Computing)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	経営情報学科	学修	1単位	選択	演習	前期	45時間		
担当教員		【常勤】教授 内田 保雄							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	<p>経営情報システムの構築プロセスは、経営情報システムの構想設計と具体的にシステム設計するプロセスとに大別される。本科目は後者の段階を対象とし、Webコンピューティングの統合的な活用の演習として、実用的なシステムの構築技法を修得することを目的とする。</p> <p>科目の到達目標は以下の3点である。</p> <p>①Webコンピューティングの概要が理解できる。            ②Webコンピューティングの開発環境が利用できる。            ③基本的なWebアプリケーションが構築できる。</p>								
到達目標(評価項目)	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
到達目標①	Webコンピューティングの概念と働きを理解し評価できる。	Webコンピューティングの概念と働きを理解し考察できる。	Webコンピューティングの概念と働きを理解し説明できる。	Webコンピューティングの概念と働きを理解できない。					
到達目標②	Webコンピューティングの開発環境を設定できる。	Webコンピューティングの開発環境を効率よく利用できる。	Webコンピューティングの開発環境を利用できる。	Webコンピューティングの開発環境が利用できない。					
到達目標③	基本的なWebアプリケーションを構築し評価できる。	基本的なWebアプリケーションを構築し考察できる。	基本的なWebアプリケーションを構築し説明できる。	基本的なWebアプリケーションを構築できない。					
学習・教育目標	(D)①	JABEE基準1(2)		(d)-(3)					
達成度評価(%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合	30	30		40					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶・理解レベル】	◎	◎		○					/
思考・推論・創造への適用力 【適用・分析レベル】	○	○		◎					
汎用的技能 【論理的思考力】				○					
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【エンジニアリング・デザイン能力】				○					

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	情報システム論、データベース論
教科書	なし
補助教材等	Webで補足資料を提示する。
学習上の留意点	
<p>HTML、ネットワーク、データベースの知識が必要である。            重要な事項について練習問題を課す。練習問題を解いて実装することで、自身の理解度を把握する。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>プログラムを丸暗記するのではなく、処理の仕組みを理解することが重要である。            使用するプログラミング言語のリファレンスマニュアルを読み解くことが理解の手助けとなる。</p>	

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス Webコンピューティングの意義	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・Webコンピューティングの目的と意義について理解できる。	第1回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
2	Webコンピューティング概要	・Webコンピューティング概要を理解でき、図示できる。	第2回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
3	Webコンピューティングの開発環境	・Webコンピューティングの開発環境を理解でき、使用することができる。	第3回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
4	データベースシステムの設定	・データベースシステムの設定を行なうことができる。	第4回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
5	開発言語の設定	・開発言語の設定を行なうことができる。	第5回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
6	パラメータの受け渡し	・パラメータの受け渡しについて理解できる。	第6回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
7	日本語の扱い	・日本語の扱いについて理解できる。	第1回～第7回で取り上げた内容の復習を行ない、試験に備える。
8	<b>中間試験</b>		
9	試験返却・解答解説 フォームの利用	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・フォームの利用を理解できる。	第9回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
10	PHPによるPostgreSQLの操作	・PHPによるPostgreSQLの操作方法について理解できる。	第10回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
11	開発演習(1)	・課題を理解し、外部設計ができる。	第11回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
12	開発演習(2)	・課題を理解し、内部設計ができる。	第12回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
13	開発演習(3)	・課題を理解し、プログラム設計ができる。。	第13回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
14	開発演習(4)	・課題を理解し、プログラミングとテストができる。	第1回～第14回で取り上げた内容の復習を行ない、試験に備える。
	<b>期末試験</b>		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	試験内容の確認を通して全体の復習を行なう。
<b>総学習時間数</b>			45 時間
<b>講義</b>			30 時間
<b>自学自習</b>			15 時間